

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|---|-------------------------------|------------|
| ■事業の担当課 | 保健福祉部健康増進課 | ■担当係 | 母子保健係 |
| ■評価事業名称 | 保健推進員設置事業(国保) | | |
| ■事業開始年度 | 平成3年度 | | |
| ■評価事業コード | 040200 - 202 | ■会計区分 | 国民健康保険特別会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり | |
| | ■基本施策 | 03 健康づくりの推進と地域医療の充実 | |
| | ■施策 | 03 市民の健康づくりの推進 | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令の努力義務(自治事務) | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | 北上市健康づくりプラン | | |
| ■事業の目的と概要 | 保健活動の円滑な推進を図る。委嘱・活動報告に関する事務、研修会開催、事務局として保健推進員協議会の運営、活動に係わる等 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成30年度事業計画 | 平成30年度事業量実績 |
|--------|---------------|-------|--|---|
| 01 | 保健推進員設置事業(国保) | 市民 | ・後期全体研修会の実施・活動報告書の提出・協議会委員へのミニ学習会の実施・県の研修会への参加 | 後期全体研修会1回 参加者数 162人 活動報告書提出件数 4,138件 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 195 | 124 | 94 | 145 | |
| 人件費 | 223 | 601 | 610 | 922 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 418 | 725 | 704 | 1,067 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 指標の説明 |
|-------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-----------------------------------|
| 01 | 保健推進員研修会参加者数 | 164人 | 182人 | 176人 | 162人 | |
| 02 | 保健推進員活動報告書提出者件数 | 234人 | 230人 | 230人 | 236人 | |
| 03 | 保健推進員になって役に立った(良かった)と思う者の割合 | 72.0% | 80.9% | 77.5% | 80.2% | 役に立った(良かった)と思う保健推進員数÷アンケート提出数×100 |

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

| | | | | | | |
|----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 04 | 提出者一人当たりコスト | 1,786円 | 3,152円 | 3,060円 | 4,521円 | フルコスト÷提出者 |
| 05 | 参加者一人当たりコスト | 2,548円 | 3,984円 | 4,000円 | 6,586円 | フルコスト÷研修会参加者 |

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

全体研修会においてグループワークを実施した。

問題点・課題等

保健推進員の定数等の見直しが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

2020年に保健推進員協議会が30周年を迎えるにあたり、保健推進員の活動の見直しをしていく必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了